

2016年6月1日

Primetals Technologies、メキシコ・AHMSA社へ納入の焼ならしライン稼働開始

- 年間処理能力30万トンへ増強した焼ならしラインが稼働開始

Primetals Technologiesがメキシコの鉄鋼メーカーAltos Hornos de México S.A.B社（以下、AHMSA社）のモンクローバ製鉄所に納入した焼ならしラインは、2013年10月に年産能力20万トンで受注し、2014年に年産30万トンへの増強を追加受注していましたが、この5月に鋼板処理を開始し、ほぼすべての構成機器が完全自動モードで稼働しました。

AHMSA社はメキシコ最大手の一貫製鉄会社で、厚板を製造する同国唯一の企業です。同社の粗鋼年間生産量は500万トン以上にのぼり、熱延および冷延コイル、厚板、錫めっき薄板、錫無し鋼板、各種の極厚板など、主に各種圧延鋼板を製造しています。

本ラインでは、同じく当社納入のステッセル熱間圧延機で圧延された炭素鋼板の焼ならし処理により、金属組織は均質に微粒化され、鋼板の引張強度、延性、溶接性が向上します。本ラインでは、厚さ4.5～50.8ミリメートル、幅1,500～3,048ミリメートル、長さ3,000～16,000ミリメートルの鋼板の処理が可能。自動ガントリクレーンにより搬入テーブルに降ろされた鋼板は、寸法の計測、ブラスト装置によるスケール除去、窒素ガス雰囲気の中での所定温度への加熱を経て、冷却床上で放冷されます。ラインの出側セクションの最終工程には、マーキングマシン、サンプリング用のプラズマ切断機を装備し、処理後の鋼板は自動ガントリクレーンで搬出されます。

当社は、本ラインのエンジニアリング及びプラントの全構成機器、配電装置を含む電気機器一式、自動化システム・ベーシックオートメーション（レベル1）、プロセスオートメーション（レベル2）の納入、据付と操業指導を担当しました。



Primetals Technologies がメキシコ・AHMSA 社に納入した焼ならしラインの出側セクション。5 月に初品鋼板を処理。

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）によるプレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。

www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

Primetals Technologies Japan 株式会社 総務部
〒108-0014 東京都港区芝五丁目 34 番 6 号 新田町ビル 9 階
TEL(03) 5765-5231

Primetals Technologies 公式ツイッター: twitter.com/primetals

Primetals Technologies, Limited は本社を英国、ロンドンに置き、金属鉄鋼産業にとって、エンジニアリングやプラント建設全般の、世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービス

Primetals Technologies, Limited
A joint venture of Siemens, Mitsubishi Heavy Industries and Partners
Communications
Head: Heiko Huensch

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom

の一式を提供します。鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野部門にも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工グループで、株式会社日立製作所、並びに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足しました。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。発足時の従業員数は全世界で約 9,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : www.primetals.com